

啓伸塾 便り

宿題の目的とその大切さ

なぜ、宿題があるのでしょうか。

- ①勉強の習慣づけ
- ②学習の定着

そのどちらでもあります。①の家庭学習の習慣づけについては言うまでもありません。学校の自主勉の目的もそれです。しかし、家庭学習の習慣付けだけでは、テストで点数が取れないことは、もう皆さんはわかっていることだと思います。

自主勉ノートを何も考えずに、ただカラフルに書いてあるだけの子どもがいます。そんな子は人一倍、時間を費やし何ページもノートを書いていてもかわらず、テストで点数が取れません。こんな子に限って、「私は一生懸命時間をかけて勉強しているのに点数が上がらない。」と言います。そして「私は勉強の仕方がわからない。」とも言います。

テストで点数が取れないのは当然です。この子は勉強をしていません。ただ、ノートを埋めることだけを考え、書いています。頭を使っているとは思いません。書いて覚える漢字、英単語でも、その意味を考えながら書かなくては覚えられません。

勉強とは、新しいことを覚え、それを使って問題を解けるようになることです。解ける問題が増えてこそ学力は高まります。学力は学習量に比例し高まります。ただし、やってはいけない勉強法があります。それは、一度やってきたことを繰り返す、ただノートを埋めるだけの勉強です。これをいくらやってもテストの点数は上がりません。

塾の授業は学校の授業と連動しています。英語・数学(小学校は国語・算数)は、その子の学習レベルにもよりますが、塾の授業が学校より少し先を行くようにしています。つまり、学校の授業が復習になるようにしています。

どんなに頭のいい子ども、一回では覚えられません。繰り返すことが学力の定着になります。繰り返すことによって、覚えたことが頭に定着し、学力が高まると言えます。そのための、学校、塾での勉強です。そして、何より欠かせないのが宿題です。

学校や塾で新しいことを覚えます。そして、覚えた知識を使って問題を解きます。覚えたばかりの知識は頭に定着しておらず、すぐには問題は解けません。先生に教えてもらい解けるようになります。しかし、自力で解いたのではないので、まだ自分の学力にはなっていません。

塾の宿題は、塾でやった問題と同じ問題です。(パターントレーニング)といって、やり方が同じ問題です。(この宿題を自力で解いて初めて学力となり、テストで問題が解け、点数が高くなるのです。)

塾で取り組む問題のよくな、じっくり考えて解く問題は、ただ教えてもらっただけでは、一人では解けるようにはなりません。

教えてもらったことを忘れないうちに、宿題に取り組んでこそ、解けるようになります。今、中学校では、各種テストが行われています。このテストで高得点を取ってへる子は、ちゃんと宿題をやってきて、家庭学習が充実しています。

学力を高めるためには、宿題も含め家庭学習が不可欠です。

学力の二極化 コロナ禍の勉強法

笠松中学校の6月に行われた確認テスト(5教科)の平均点と点数の分布表を保護者の方に見せていただきました。この分布表を見て、ここで思うことをお伝えします。

学力の二極化とはよく言われることですが、その典型のようなものでした。特に、数学はそれが顕著です。平均点の半分も取れない子が、四分の一もいます。恐らく計算も確実にできない子が多いと思われる。特に、小学校からの積み重ねが必要な数学でこのような点数では、授業がさっぱり分からない子が多くいることでしょう。

そんな子が多い授業はどうなっているのか、学校の先生は大変な心労を抱えていることでしょう。笠松中学校では、長期の休校中のオンライン授業での範囲でテストが行われました。学校が始まってからはその範囲の授業はほとんど行われず、テストが行われました。平均点の半分も取れなかった子は、オンライン授業も受けていなかったのでしょう。

このテストの5教科の平均点は300点を大きく下回っていました。このテストは、それほど難しくなかったです。ちゃんと学校の授業が行われてのテストだったら、300点は越えていたかもしれません。

コロナ禍では、このような学力の二極化はますます高まることでしょう。自分で考えて行う勉強、家庭学習の大切さがますます高まります。

保護者の皆さま!お子様に塾の宿題をちゃんとやっているか確かめてください。宿題を毎回しっかりとやっている子はテストでは、保護者の方の満足いく点数を取っていることでしょう。そうでない子は宿題をしっかりとやってない子です。すべてが積み重ねです。

宿題は「テストの点数を上げるんだ!」という気持ちを持って、自主的にやってきてくれる子が多くなりました。この気持ちを持って、9月に行われる期末テストに臨んでほしいです。そうすれば、必ず、期末テストでは良い結果が出ることでしょう。

夏休みの取り組み

- ◆小学生
算数は、夏休みまでの復習、特に文章題、国語は、漢字と読み取り問題、後半は、ともに学校の予習をします。
- ◆中学生
中学1・2年生は、夏休み明けに行われる期末テスト、実力テストの勉強を行います。理科・社会は、今までの塾の教材を使っての復習を行い、どれだけ理解したかの理解度テストも行います。国語は、読み取り問題を中心に行います。そして、英語、数学は、期末テスト対策教材を使って学習を行い、これも理解度テストを単元ごとに行います。また、過去問題にも取り組みます。

中学3年生は、例年通り入試に向けての夏期講習を昼間、夜は通常授業を行います。例年とは違い短い夏休みですが、有効に使い、休み明けのテストでは好結果を出しましょう!

◎前期期末テストの範囲は、夏休み前に行われた中間テストの範囲が7割を占めます。このテストのやり直しも、ここに載せた勉強法で、是非とも実行してください。これがベストのテスト勉強法です。保護者の方の声かけをお願いします。

今月の予定

中学1・2年生向けに補習指導のご案内をお渡ししてあります。ご確認ください。
8月23日(日) 岐阜新聞学力テスト(中3生)
塾の夏休み8月10日(月)~16日(日)です。ご予約下さい。
中3生の夏期講習は上記の期間中も行います。

8月(葉月)
August

基礎学力を重視する学習塾
啓伸塾
ただ今、新入塾生募集中